



プログラム名	グリーンウォッチング		活動時間 1.5～3.5時間
概要	<p>○グループごとに、指定された樹木を探し、ヒントを頼りに植物名を探しワークシートに書き込む。</p> <p>○安全に活動し、閑谷の自然に触れて、植物の見方を獲得する。</p> <p>○最大人数 150人</p> <p>■無料</p>		
ねらい (SDGs)	 	<p>○閑谷周辺の山野にある樹木の特徴や名前を知ること、自然に親しむ心を養う。</p> <p>○活動を通して協力することや思考・判断する事の大切さを学ぶ。</p>	
準備物 (服装など)	<p>○教育センター・・・地図、樹木検索シート、図鑑、ワークシート、ビブス、トランシーバー</p> <p>○研修団体・・・運動着（長袖長ズボンが望ましい）帽子、水筒、タオル、ナップサック、雨具、腕時計、筆記用具、救急用具 など</p>		
研修の流れ	<p>○集合場所に整列（団体引率者の指導）</p> <p>○研修生へ用具配布（センター職員/集合場所）</p> <p>○植物や同定方法についての説明</p> <p>○フィールド活動（同定）開始/終了</p> <p>※地図を見て番号札のかかった樹木を見つけ、その樹木の名前を同定する</p> <p>○貸出用具回収</p>		
研修場所	<p>集合場所</p> <p>○屋外・・・つどいの広場 キャンプファイヤー場</p> <p>○屋内・・・プレイホール 各研修室 ロッジ</p>	<p>活動場所</p> <p>・センターからキャンプ場まで</p> <p>・南の森コース</p>	
研修生への留意点	<p>○常に班でそろって行動する。</p> <p>○走らない。</p> <p>○植物を傷つけない。</p> <p>○決められたコース以外の茂みの中などに行かない。 ・鹿、イノシシ、マムシ、ハチなどの動物を刺激しない。</p> <p>○体調の悪化やケガをした場合には、速やかに引率者に報告する。 ※容体が改善しない場合は、センター職員が送迎可能地点（舗装された道路）まで車で迎えに行く。</p> <p>○ゴール後、衣服をしっかりと脱ぐ。（マダニ除去のため）</p>		

引率者への
留意点

班分け
4～5人班

○事前準備

- ・研修生の班分けをする。(4～5人が望ましい)
- ・引率者の観察ポイントの配置を決める。

○研修当日（出発前）

- ・必要な無線機の数を中心職員に伝える。
- ・研修生に水筒、筆記用具、時計などの必要物を用意させる。
- ・研修生に、トイレを済ませて開始時刻前までに班ごとに整列させる。
- ・引率者は、研修生への説明前に、無線機の使い方の説明を受ける。
- ・無線機の説明が終わり次第、観察ポイントに立つ引率者は出発する。

○研修生への説明後

- ・ゴール時間の周知を研修生に徹底する。
- ・準備ができ次第、出発の合図をする。

○活動中

- ・観察ポイントにいる引率者同士で連絡を取り合う。
- ・ケガや体調不良者が出た場合、対応、連絡等行う。
- ・体調不良者の歩行が難しい場合は、センター職員と連絡を取り、車送迎の手配をする。
- ・研修生がコースから外れたり、危険な行為をしないよう指導する。
- ・終了時刻から逆算して研修生をコース内に取り残さないようにゴールに向かう。途中で研修生を見つけた場合は、ゴールに向かうよう指示する。
- ・無線機の電波が届きにくい場合は、各ポイントで中継をしながら連絡を取り合う。

○活動後

- ・各班の地図、樹木検索シート、図鑑、ビブスを回収する。
- ・ビブスは番号順に揃えて、玄関脇のハンガーラックに掛ける。
- ・建物に入る前に衣類をしっかりと拭く。

【説明内容】

○植物について

- ・植物の役割について
- ・植物の分類について
- ・植物と動物との違いについて

○同定方法について

※樹木検索シートと葉っぱ図鑑を使って同定を行う。

- ①葉っぱの形を調べる
- ②枝への付き方を調べる
- ③葉のフチを調べる
- ④葉の厚み・硬さを調べる
- ⑤図鑑で詳しく調べて樹木の名前を特定する。